



2018年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年4月27日

上場会社名 株式会社CEホールディングス 上場取引所 東 札
 コード番号 4320 URL http://www.ce-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 惠昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 芳賀 惠一 TEL 011(861)1600
 四半期報告書提出予定日 2018年5月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年9月期第2四半期の連結業績（2017年10月1日～2018年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年9月期第2四半期	4,534	38.5	339	—	359	—	191	—
2017年9月期第2四半期	3,273	△19.9	△86	—	△44	—	△60	—

(注) 包括利益 2018年9月期第2四半期 226百万円 (—%) 2017年9月期第2四半期 △53百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年9月期第2四半期	26.53	25.70
2017年9月期第2四半期	△8.52	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2017年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。なお、2017年9月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年9月期第2四半期	6,904	4,159	56.9
2017年9月期	6,606	4,018	57.6

(参考) 自己資本 2018年9月期第2四半期 3,927百万円 2017年9月期 3,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2018年9月期	—	0.00	—	—	—
2018年9月期（予想）	—	—	—	12.50	12.50

(注) 1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2017年9月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2018年9月期の連結業績予想（2017年10月1日～2018年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	23.6	400	144.1	450	102.3	190	82.0	26.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2018年9月期2Q	7,407,400株	2017年9月期	7,407,400株
2018年9月期2Q	167,128株	2017年9月期	232,128株
2018年9月期2Q	7,212,717株	2017年9月期2Q	7,086,228株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2017年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数（普通株式）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料につきましては、この四半期決算短信の開示後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（日付の表示変更について）

第1四半期より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ(当社及び当社の関係会社)が事業を展開しております医療業界においては、平成30年度診療報酬が改定された中(全体として△1.19%)、医療機関には「地域医療構想」により病床機能の再編に向けた取り組みが求められており、また、早期に住み慣れた地域での療養や生活を継続できるよう、地域包括ケアシステム[1]推進のための取り組みが行われております。

一方、医療情報システムに関する国策として、「未来投資戦略2017」によりビッグデータ分析などのデータ利活用基盤の構築やICT[2]利用が推進されており、2020年までに400床以上の一般病院における電子カルテ普及率を90%とする具体的目標が維持されるなど、今後も医療の質向上や効率化に寄与する電子カルテシステム[3]の普及が期待されております。

このような状況の中、売上高は主力製品である電子カルテシステム「MI・RA・I sシリーズ」の販売が好調であったことなどから、前年同期比で大幅増加となりました。利益面におきましても、売上高の増加に加え、電子カルテシステム新製品「MI・RA・I s/AZ(ミライズ・エズィー)」[4]の研究開発終了による研究開発費の減少などにより、前年同期比で大幅に改善いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,534百万円(前年同期比38.5%増)、売上総利益は930百万円(前年同期比40.1%増)、営業利益は339百万円(前年同期営業損失86百万円)、経常利益は359百万円(前年同期経常損失44百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は191百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失60百万円)となりました。また、受注状況につきましては、受注高4,006百万円(前年同期比6.4%増)、受注残高2,014百万円(前年同期末比10.0%減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

〔医療システム事業〕

電子カルテシステム新製品「MI・RA・I s/AZ」を中心とした「MI・RA・I sシリーズ」の販売に注力するとともに、「MI・RA・I sユーザーフォーラム」[5]の活動などを通じてユーザーニーズの把握に努め、顧客満足度の向上並びに製品・サービスの品質確保を図っております。

また、政府が推進する地域包括ケアシステムの構築を見据えて、一部の地域において構築支援を行っております。さらに、地域中核病院を中心とした受託開発・導入作業の他、医療機関のシステム運用・管理を行ってまいりました。

当社グループの大半を占める医療システム事業の業績につきましては、前記の状況により、受注高3,987百万円(前年同期比6.6%増)、受注残高2,013百万円(前年同期末比9.6%減)、売上高4,496百万円(前年同期比38.8%増)、セグメント利益361百万円(前年同期セグメント損失70百万円)となりました。

〔その他〕

「Moccosuku」においては、ヘルスケア関連情報サイトの運営改善にとどまらず、新たなサービスの検討・立ち上げに取り組んでおります。その他、クラウドデジタルサイネージ[6]システムについては、公共及び商業施設向けの販売に努めてまいりました。

その他の業績につきましては、受注高18百万円(前年同期比27.4%減)、受注残高1百万円(前年同期末比86.8%減)、売上高37百万円(前年同期比6.3%増)、セグメント損失14百万円(前年同期セグメント損失13百万円)となりました。

- [1]地域包括ケアシステム 政府が構築を推進している、地域の包括的な支援・サービス提供体制。団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制を目指している。
- [2]ICT Information and Communication Technology (情報通信技術) の略。
- [3]電子カルテシステム 1999年4月22日に「真正性・見読性・保存性」の担保を条件として、厚生省(当時)が容認した紙カルテを電子的なシステムに置き換えたものを指す。当社グループの電子カルテシステムは、診療記録システム・オーダーリングシステム・看護支援システムなどから構成されている。尚、オーダーリングシステムとは、医師が検査や投薬などの指示(オーダー)を入力し、オーダー受取者がこれに従って処理・処置を行うシステムをいう。
- [4]MI・RA・I s / A Z 電子カルテシステム「MI・RA・I s シリーズ」において、2017年8月より販売を開始した新製品。より使いやすくより診療に貢献できるシステムとなるよう、多くのユーザーとともに培った機能を拡充し、操作性の改善を行うとともに、クラウドユースを想定したシステム基盤の整備を図り、医療の安全性向上、業務効率向上、患者サービス向上などの実現に寄与する。2025年に向けて整備が進められている地域包括ケアシステムにおいて医療機関が担う役割をICTの面から支援するため、導入された病院と、他の病院やかかりつけ医などの医療機関、介護、福祉などの施設や、在宅にて治療を進める患者や家族など、ヘルスケア分野全領域(All Zone)との連携を進めることを目標としている。
- [5]MI・RA・I s ユーザーフォーラム 電子カルテシステム「MI・RA・I s シリーズ」のユーザーが主体となって運営している情報交換の場であり、より使いやすく、充実したシステムへと発展することを目指し、見学会や情報交換会などの活動を定期的に行っている。
- [6]デジタルサイネージ 液晶やLEDディスプレイを用いた電子看板。紙にくらべて様々なコンテンツを届けられることから、近年その普及が急速に進んでいる。当社グループでは、医療機関向け「MI・RA・I s / S i g n a g e」と公共及び商業施設向け「D J - S i g n a g e」を取り扱っている。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,904百万円となり、前連結会計年度末に比べ298百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加519百万円、仕掛品の増加123百万円、受取手形及び売掛金の減少394百万円などによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加140百万円などによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は4,159百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分により自己株式が23百万円減少したこと、利益剰余金が96百万円増加したことなどによるものです。なお、利益剰余金の増加の内訳は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益191百万円の計上及び剰余金の配当による減少89百万円などによるものです。

この結果、自己資本比率は56.9%(前連結会計年度は57.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、医療システム事業を中心に、販売面の強化、顧客満足度向上、製品の品質向上及び機能強化、利益率の改善に取り組んでまいります。

ICTを活用したヘルスケア関連サービスや、医療介護連携構築のための情報共有基盤の整備を進めるべく、今後も業務提携などを通じた当該サービス拡大への取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

2018年9月期の連結業績見通しにつきましては、2017年11月6日発表の「平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,191,425	1,710,636
受取手形及び売掛金	2,412,278	2,017,483
商品及び製品	1,342	937
仕掛品	336,710	460,459
原材料及び貯蔵品	1,801	1,644
その他	180,464	134,267
貸倒引当金	△975	△1,281
流動資産合計	4,123,047	4,324,148
固定資産		
有形固定資産	319,866	312,740
無形固定資産		
のれん	182,191	172,343
その他	133,174	237,129
無形固定資産合計	315,366	409,472
投資その他の資産		
関係会社株式	1,104,316	1,096,657
その他	744,464	762,013
貸倒引当金	△440	△410
投資その他の資産合計	1,848,341	1,858,260
固定資産合計	2,483,574	2,580,474
資産合計	6,606,621	6,904,623
負債の部		
流動負債		
買掛金	996,616	1,136,853
1年内返済予定の長期借入金	254,072	254,072
未払法人税等	50,738	135,948
賞与引当金	100,513	114,146
その他	278,954	321,563
流動負債合計	1,680,894	1,962,583
固定負債		
長期借入金	805,398	678,362
退職給付に係る負債	59,193	63,698
その他	42,250	40,494
固定負債合計	906,841	782,555
負債合計	2,587,736	2,745,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,590	1,136,590
資本剰余金	1,162,443	1,162,443
利益剰余金	1,590,549	1,687,413
自己株式	△84,917	△61,138
株主資本合計	3,804,666	3,925,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,688	2,360
その他の包括利益累計額合計	1,688	2,360
新株予約権	2,157	1,812
非支配株主持分	210,372	230,002
純資産合計	4,018,885	4,159,484
負債純資産合計	6,606,621	6,904,623

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年10月1日 至2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)
売上高	3,273,666	4,534,031
売上原価	2,609,494	3,603,453
売上総利益	664,171	930,577
販売費及び一般管理費	750,393	590,877
営業利益又は営業損失(△)	△86,222	339,699
営業外収益		
受取利息	147	85
受取配当金	1,350	1,632
投資事業組合運用益	325	4,053
持分法による投資利益	33,346	10,593
その他	7,719	5,692
営業外収益合計	42,888	22,057
営業外費用		
支払利息	1,515	1,896
営業外費用合計	1,515	1,896
経常利益又は経常損失(△)	△44,849	359,859
特別損失		
持分変動損失	604	1,252
特別損失合計	604	1,252
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△45,453	358,607
法人税、住民税及び事業税	13,793	136,309
法人税等調整額	△3,975	△3,364
法人税等合計	9,818	132,944
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△55,271	225,662
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,352	191,332
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,080	34,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,842	672
その他の包括利益合計	1,842	672
四半期包括利益	△53,429	226,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△58,509	192,005
非支配株主に係る四半期包括利益	5,080	34,329

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△45,453	358,607
減価償却費	44,214	46,178
貸倒引当金の増減額(△は減少)	432	276
のれん償却額	4,924	9,848
受取利息及び受取配当金	△1,497	△1,717
支払利息	1,515	1,896
持分法による投資損益(△は益)	△33,346	△10,593
売上債権の増減額(△は増加)	△306,730	394,795
たな卸資産の増減額(△は増加)	△92,037	△123,187
仕入債務の増減額(△は減少)	224,658	140,237
その他	△11,440	95,454
小計	△214,761	911,795
利息及び配当金の受取額	18,362	18,712
利息の支払額	△1,534	△1,896
法人税等の還付額	12,574	15,251
法人税等の支払額	△39,405	△64,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	△224,764	879,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,190	△7,530
無形固定資産の取得による支出	△40,570	△134,572
投資有価証券の取得による支出	△320,694	△10,700
投資有価証券の売却による収入	309,350	536
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△73,448	-
その他	15,956	3,762
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,596	△148,504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	-
長期借入れによる収入	300,000	-
長期借入金の返済による支出	△199,192	△127,036
リース債務の返済による支出	△1,274	△1,008
非支配株主への配当金の支払額	△14,700	△14,700
配当金の支払額	△70,350	△87,957
新株予約権の行使による株式の発行による収入	12,915	18,655
財務活動によるキャッシュ・フロー	327,398	△212,046
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,962	519,211
現金及び現金同等物の期首残高	1,156,650	1,186,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,145,688	1,706,209

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2016年10月1日至2017年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)3
	医療システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,238,637	35,028	3,273,666	—	3,273,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,238,637	35,028	3,273,666	—	3,273,666
セグメント損失(△)	△70,862	△13,112	△83,974	△2,247	△86,222

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額△2,247千円は、セグメント間取引消去81,406千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△83,654千円であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社システム情報パートナーの取得によるのれんの増加額は、第2四半期連結累計期間においては192,040千円であり、「医療システム事業」に帰属しております。

また、医療システム事業のセグメント損失(△)には、のれんの償却額4,924千円が含まれております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)3
	医療システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,496,793	37,237	4,534,031	—	4,534,031
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,496,793	37,237	4,534,031	—	4,534,031
セグメント利益又は損失(△)	361,347	△14,883	346,463	△6,764	339,699

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,764千円は、セグメント間取引消去85,128千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△91,892千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんの金額につき、重要な変動はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	前年同期比(%)
医療システム事業(千円)	3,789,810	139.3
その他(千円)	15,794	109.1
合計(千円)	3,805,605	139.2

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 生産実績は当期総製造費用で表示しております。
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期末比(%)
医療システム事業	3,987,290	106.6	2,013,454	90.4
その他	18,909	72.6	1,365	13.2
合計	4,006,200	106.4	2,014,820	90.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	前年同期比(%)
医療システム事業(千円)	4,496,793	138.8
その他(千円)	37,237	106.3
合計(千円)	4,534,031	138.5

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当第2四半期連結累計期間において、総販売実績の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。